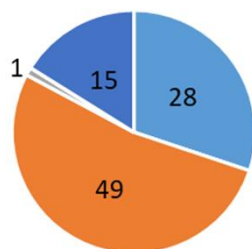


(水利施設) 県内地域における農業気象災害の傾向

【全体概要】

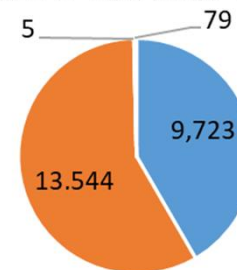
- （図左）水利施設における農業気象災害の発生件数は、過去30年間合計で93件。台風が28件、降雹・強風・大雨が49件、降霜が1件、落雷が15件となっている。
- （図右）被害金額は、過去30年間合計で23,351百万円。台風が9,723百万円、降雹・強風・大雨が13,544百万円、降霜が5百万円、落雷が79百万円となっている。
- 調査した8品目と2施設の中で、落雷の被害が生じているのは水利施設のみとなっている。

災害種類ごとの件数 (件)



■ 1. 台風 ■ 2. 降雹・強風・大雨 ■ 3. 降霜 ■ 4. 降雪 ■ 5. 落雷

災害種類ごとの被害金額 (百万円)

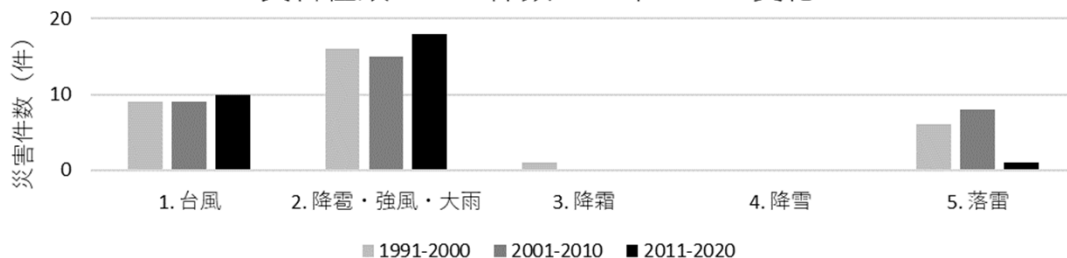


■ 1. 台風 ■ 2. 降雹・強風・大雨 ■ 3. 降霜 ■ 4. 降雪 ■ 5. 落雷

【災害別の10年ごと（1990年代・2000年代・2010年代）の傾向】

- （図左）災害件数について。年代順に、台風は、9件、9件、10件。降雹・強風・大雨は、16件、15件、18件。降霜は、1件、0件、0件。落雷は6件、8件、1件。
- （図右の1）台風による被害金額は、2010年代が最も大きく6,528百万円、1990年代は2,179百万円。2000年代は1,016百万円。
- （図右の2）降雹・強風・大雨による被害金額は、1990年代が最も大きく9,601百万円、2000年代は224百万円。2010年代は3,719百万円。
- （図右の3, 4）降霜による被害金額は、1990年代の5百万円のみ。落雷による被害金額は、2000年代が最も大きく40百万円、1990年代は35百万円。2010年代は4百万円。
- 大雨の強度や頻度が増加傾向が確認され、また台風の強度も強まることが予測されており*1、被害の拡大が懸念される。

災害種類ごとの件数 10年ごとの変化



災害種類ごとの被害金額 10年ごとの変化

